

TOHOシネマズ学生映画祭 準グランプリ

ネット情報・後藤さん 映像制作に意欲



後藤さんの受賞作の「コマ

「コマ」は、腕時計で時間を測るのがカッコいい」というメッセージを軽快なリズムに乗せて描いた。

後藤さんは時計がテーマのCM部門(30秒)に応募。『Let's be coolest!!』と題して「スマホで時間を見ていないで、腕時計で時間を測るのがカッコいい」というメッセージを軽快なリズムに乗せて描いた。

熱心に討論するアジア各国からの参加者。中央は原田代表



社会知性開発研究センター/ソーシャル・ウェルビーイング研究センター(代表:原田博夫経済学部教授)は、海外での初のコンファレンス「ソーシャル・ウェルビーイング研究国際コンソーシアム第1回会議」を3月9、10の両日、タイのチュラロンコン大学で開催した。

「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」の構築(2014~18年度)の一環として行われたもので、組織間協定校であるチュラロンコン大学創立100周年記念事業として位置づけられ、アジア開発銀行研究所、日本経済研究センターの後援も受けている。

1日目はアンケート調査「ライフスタイルと価値観に関する国際比較調査」をすでに実施したアジア各国(日本、韓国、ベトナム、フィリピン、タイ)からの分析結果の報告と、本年度に実施予定のインドネシアを含む各国の研究者による研究報告が行われ、7カ国から計48人が参加した。

2日目はチュラロンコン大学100周年記念事業の一環である公開シンポジウムが開催され、欧州を含む9カ国から128人が参加した。ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾



贈られた盾を手に笑顔の加藤代表 地域行事に参加するSKV(2016年8月

海外初のコンファレンス タイ・チュラロンコン大で

ソーシャル・ウェルビーイング研究センター

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

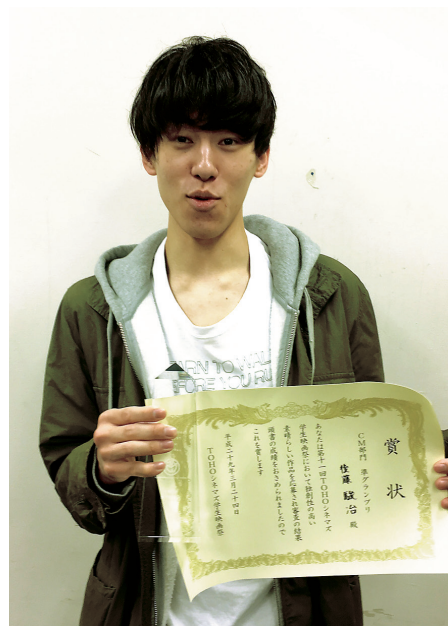
ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

贈られた盾を手に笑顔の加藤代表 地域行事に参加するSKV(2016年8月



賞状とクリスタル盾を手にする後藤さん

4月からは後藤さんはCMやPR CGや映像制作などに取

ビデオなどの映像制作を学ぶ「メディアアプリケーション」(デジキャン)の学習で、今、走り出す。賞について、「自主的に勉強会や個人制作に取り組み成果が表れている」とコメントした。後

「アジアにおけるソーシャル・ウェルビーイング研究コンソーシアム」の構築(2014~18年度)の一環として行われたもので、組織間協定校であるチュラロンコン大学創立100周年記念事業として位置づけられ、アジア開発銀行研究所、日本経済研究センターの後援も受けている。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

贈られた盾を手に笑顔の加藤代表 地域行事に参加するSKV(2016年8月

少年少女レスリング教室 教育セミナーを開催



「少年少女レスリング教室」はスポーツ研究所が主催。生田キャンパスレスリング場で5歳から高校生までを指導し、心と体を鍛え、次世代のチャンピオンの輩出を目的としている。コーチは本学レスリング部OB有志。現在参加者は60人ほどで神奈川県外からの参加者もいる。(相澤勝治文学部准教授)

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

贈られた盾を手に笑顔の加藤代表 地域行事に参加するSKV(2016年8月

「少年少女レスリング教室」はスポーツ研究所が主催。生田キャンパスレスリング場で5歳から高校生までを指導し、心と体を鍛え、次世代のチャンピオンの輩出を目的としている。コーチは本学レスリング部OB有志。現在参加者は60人ほどで神奈川県外からの参加者もいる。(相澤勝治文学部准教授)

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

ASEAN諸国を中心とする研究者や国際機関の関係者から、持続可能な開発目標とソーシャル・ウェルビーイングの向上をどう両立させていくべきかについての報告や提言があり、コンソーシアムの研究成果を政策提言として社会に還元していく必要性が確認された。

専大側からの登壇者は原田代表、金井雅之人間科学部教授、稲田十一郎経済学部教授、飯沼健子経済学部教授、嶋根克己(法3)にクリスタル盾

贈られた盾を手に笑顔の加藤代表 地域行事に参加するSKV(2016年8月

寸劇を交えてプレゼンテーションする新入生

ワークショップに続いて、先輩学生が履修やサークル活動など大学生活について体験を語った。目標をどう設定するか、困難な状況に直面したときにどう克服するかなど具体的な体験談に、新入生は真剣に耳を傾けた。

贈られた盾を手に笑顔の加藤代表 地域行事に参加するSKV(2016年8月